

表面処理技術研究会

【目的】

表面処理関連企業による新たな表面処理技術の導入や表面処理廃液等からの有価物回収、機械部品製造企業による自社製品に適した表面処理方法の選択などの支援を目的として研究会活動を行いました。

【内容】

技術情報提供のための「講演会の開催」と、各企業の課題を開発につなげる「技術開発支援」の2本柱の活動を行いました。

■ 講演会の開催

外部から講師を招いての講演や当センターの研究紹介を行いました。講演テーマについては会員企業の要望に応えられるよう努めました。



図1 講演会の様子

第1回研究会 (H26.10.15)

【講演】貴金属めっきプロセスからの回収技術
田中貴金属㈱ 鯖江 慶氏

【研究紹介】クロムフリー表面処理技術の研究
工業技術センター 岩澤健太

第2回研究会 (H27.2.17 予定)

【講演】エアロゾルデポジション法による
常温セラミックスコーティング
～原理と実用化事例と応用展開の可能性～
(独)産業技術総合研究所 明渡 純氏

【講演】はつ液性に優れた表面処理技術
～低環境負荷を目指したコーティングの開発～
(独)産業技術総合研究所 浦田千尋氏

【研究紹介】めっき廃液からの高効率金属回収
システムの開発
工業技術センター 加藤 健

■ 技術開発支援

個別対応の活動として、会員企業から寄せられた困っている案件、技術開発したい案件などへの相談対応を実施しました。技術開発したい案件については、フィージビリティスタディ(そのアイデアは実用化技術に至る可能性があるかを判定する研究段階)にスムーズに移行できるよう、技術調査、研究体制構築のための外部機関との連携支援、予備実験の実施、競争的研究資金の申請などを行いました。

2014年12月末時点で相談案件4件に対応し、そのうち外部との連携まで進んでいるもの、予備実験を実施して競争的研究資金申請や学会発表を行ったものがそれぞれ1件ずつあります。

【今後の予定】

平成27年度も開催し、企業の皆様の技術情報収集、技術開発をお手伝い致します。

基礎となった事業

平成26年度 オンリーワン技術開発支援事業(研究会)

現在の担当部門

先端技術部門	部 門 長	大城 靖彦	TEL:029-293-7495
	主 任	加藤 健	
	主 任	石渡 恭之	